

# 地本業務ニュース

## JR 東海 労・静岡 地方本部

NO. 4 2016年11月19日 発行者：JR東海労静岡地方本部 植松昌彦

### 「御殿場駅コンコース天井板落下について」業務委員会開催 定期点検で防げなかった天井落下！

11月11日地本は、10月20日午前4時45分頃に御殿場駅コンコースで発生した天井板が落下した事象について業務委員会を開催しました。場所は御殿場駅の下りホーム階段上付近で、すぐ横にはお客様用ベンチもあり、営業時間内に落下していたらぞっとする事象でした。地本は、事故原因と安全対策について説明を求めてきました。

以下申第3号についての会社回答です。

1. 事象の詳細を時系列で明らかにすること。

<回答>

平成28年9月20日4時45分頃営業開始前の準備をしていた御殿場社員が改札内のコンコースの天井部材の一部が落下していることを認めた、営業開始前でありお客様の通行はなかった、発見後当該箇所にはカラーコーンを設置しお客様が付近に立ち入らないように対応した。

2. 雨漏りが原因としているが、天井パネルの上部に問題があったのか明らかにすること。

<回答>

屋根材をコーティングしている、ビス頭のシーリング材の経年劣化により、雨水が屋根裏に侵入して天井材が軟化して剥がれ落ちたと推定している

3. この事象で旅客からの苦情はなかったか明らかにすること。

<回答>

苦情はなかった。

4. 他の駅の天井板も同様の構造(石膏ボード・ロックウール)なのか。

<回答>

同様の素材の天井板は、52駅で使用されている

5. 御殿場市長とは、どのような話をしたのか明らかにすること。

<回答>

そのような考えはない。

6. 以前の業務委員会で、組合が旅客・社員の安全に係る事象が発生したら、組合に説明すべきだと主張したが今回の事象について何ら説明がない事は、労使関係を軽視していると考え。会社な考えを明らかにすること。

<回答>

必要に応じて適切に対応する。

### [主な議論]

組合：雨漏りが原因で経年劣化というが点検はしていなかったのか。

会社：天井材の定期点検はしていた。

組合：天井を吊っている吊の部分が落ちたのか。

会社：天井板が落ちた。

組合：御殿場の天井をぼちぼち変えようという計画はなかったのか。

会社：なかった。

組合：以前から天井のシミはあったのではないか。

会社：シミはなかったと聞いている。

組合：過去の点検で雨漏りの報告はなかったのか。

会社：点検はしていたが発見は出来なかった。52 駅すべて同じような材料を使用している場所は点検していく。

組合：天井の改修の計画はなかったのか。

会社：具体的な計画はなかったと聞いている。今後は部材を変える。

組合：そろそろ変えようという計画があったと聞いているがどうか。

会社：そのような背景については分からない。

組合：危ないという認識はなかったのか。

会社：定期点検はやっていた。

組合：水がしみ込んでいけばシミはできるはずだが、シミはなかったのか。

会社：それはなかった。

組合：雨漏りはなかったのか。

会社：対応はその都度やっている。

組合：職場の人が、シミがあると報告した場合改修するのか。

会社：問題がなければ改修はしない。

組合：予算と工事について聞くが、緊急に取り換えなければいけない場合は、直ちに工事に取り掛かるが、そろそろ変えなければいけないという状態の場合は、予算がついてか

ら工事に取り掛かるのか。予算が付かなければ工事に取り掛からないのか。

会社：緊急性のあるものは対応する。

組合：資材に問題があったのだから同様の資材を使用している箇所は交換をすること。

会社：今後部材を長期的に変えていく。

以 上